

☆第2土曜日の作業

3月の作業日はいいお天気でした！と言いたところですが、空がぼんやりとかすんでいる日でした。春の風情のかすみも、最近喜んでいられませんか。黄砂と花粉だけでなくPM2.5も飛んでいるという話で、花粉症の人でもそうでない人もと



ウメの観察会。ウメには歴史があります

でもマスク率の高い作業日になりました。観察会はカミラの担当です。今年は開花が遅かったウメがようやく咲いたので、3本のウメを中心に森を歩きました。ウメにたどり着く前に、まずは水辺のフキの観察。フキは顔を出したものの、そのあと寒い日が続いたのでなかなか開かないままでした。1本目のウメはハヨ池近くで、ここが1番開花が遅いのでまだ蕾でした。そこから駐車場のホケザや材入れノグサも眺めつつ、2本目はハクノ林の中の紅梅です。紅梅はピンクのかわいい花を咲かせていました。ところで、紅梅と白梅の区別は花の色ではなく幹や枝の断面の色で判断するそうです。花の色がピンクでも断面が赤くなければ分類としては白梅になります。ではこの紅梅は？というところ、昨年枝を切った時に断面は赤くなかったそうなので、これは白梅ということになるかもしれません。白梅と一口に言ってもたくさんの系統があり、ピンクの花の種類も数多くありますので、きっとそのうちのどれかなのだらうと思っています。3本目のウメがメインとなるケヤキの林に咲くウメです。こちらはだいたい花の数も増えてきた頃合いで、いい香りが漂っていました。ウメの歴史をざっと解説すると、原産地は中国の雲南省、四川省、チベットの山岳地帯だといわれており、紀元前2000～4000年前には栽培されていたといわれています。日本には奈良時代に入ってきたそうで、初めは白梅だけでした。遅れて平安時代に紅梅も入ってきましたが、紅梅も普及するのと同時に、ウメは木の主役の座をサクラに奪われていきました。今でも「花見」といえばサクラを指しますね。具体的には、天皇の御前にあった「左近のウメ」が「左近のサクラ」に変わってしまったという事例があります。といっても、菅原道真の飛梅伝説(梅を

愛好していた道真が太宰府に左遷された時に、道真を慕ってウメの一枝が太宰府まで飛んでいったという伝説)など、ウメにまつわる話はたくさん伝



わっているの、ウメ たき火でごはんつくったよ！も完全に忘れられた

わけではないようです。清少納言も紀貫之も紅梅を愛していたそうです。これからどんどんいろんなお花が咲いていくので、楽しみです。

さて今月の作業は、竹林整備、アサギのひこばえ管理、昼食づくりでした。まずは竹林整備です。東北はものすごい雪でしたが、この辺りはそれほど降らず、春のべちゃ雪もなかったため、それほど竹は折れなかったのですが、元々南方の植物である竹は積雪地域にはつらいものがあるようです。雪で折れ曲がっている竹をきっていくと、大きな空間ができてしまい、伐りすぎたかな…とちょっと反省です。春にクワが生えてくるのを待つばかりです。

アサギのひこばえ管理は、冬でも葉っぱをつけている常緑樹のアサギが増えすぎないように、切り株から生えているひこばえの伐採をしました。アサギはこの森で一番たくさん見られる常緑樹で、高さ十数メートルに育っている大きなものもあります。伐っても切り株からひこばえが生えてきやすい木で、森を暗くする原因となっていますから、保全作業で伐採する代表的な樹種の一つです。伐ったひこばえは、チップにしたり、子どもたちのイベントで使用する予定です。

別働隊で、山田棟梁による棚づくりもありました。2×4材とコンパネで使いやすい棚があつという間に完成しました。これでまた作業小屋が一段と使いやすいものになりました。

昼食はいつものスタッフが不在でしたが、ベテランメンバーがおいしい炊き込みご飯を炊いてくださり、それを彩るおかずは若手が奮闘して作りました。旬の菜の花と鶏の和え物、定番になりつつある白菜の重ね煮、キャベツのコールスローサラダなどがなんとか仕上がりと、昼食班も一安心でした。

4月の作業日は

4月13日(第2土曜日)、24日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は4月10日 午後7時頃～

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

☆第4水曜日の作業

2012年度最後の作業日となった第4水曜は20

人で活動。この日は丸太枠組み解体(下記参照)の続きとして、前回よりさらに太い丸太の掘り起こしと玉切りを行いました。この作業は力仕事为主になるのですが、第4水曜には女性の参加もあり、女性向けの繊細な(?)作業として交流広場で♂のひこばえ退治も行いました。

交流広場は、1998年に遊林会が活動を始めた所で、藪に覆われていたこの場所で常緑樹の伐採や落ち葉かきを集中して行ってきた結果、数少なかったシュナンが今では多数生育するようになったり、様々な落葉樹が生育してくるなど、多様な植物が生育する場となっています。しかし気付けば、初期の頃に伐採したアサの切り株から伸びてきたひこばえが相当な大きさに育ち再び藪のようになりかけていたため、今回の作業に至りました。わずか3人での作業で、まだ少し切り残しもありますが、やるとやらないのでは大違い、だいぶすっきりしました。

昼食は、今日で作業を終えるスタッフのためにと華やかなちらし寿司、丁字府の辛子和え、魚のあんかけ、かき玉汁など豪華。和気あいあいとおいしくいただきました。

丸太解体作業は午前中に終わり、午後からは解体した丸太の中でも比較的状态の良いものをベンチにしようと帯鋸で切断する作業を行いました。12年以上も放置されていた丸太を、ベンチとしてよみがえらせる作業を今後行います。

☆3月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。3/14 7人 この森の整備が始まった12~13年前、大量に生えていた竹を業者が伐採してチップにしたのですが、当時立ち枯れていたスギを伐採し、5m四方の井桁に組んで竹チップを集積する場所としました。その丸太枠組みが役割を終え長い間放置されていたので、これを掘り起こす作業をしました。重労働の末に出てきた丸太は、十数年放置されていた割に芯(心材)部分は腐っておらず、ベンチでも作ろうか…ということになりました。とりあえずこの日は2つの枠のうち1つ解体を終えました。4月は18日が活動日です

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

春は出会いと別れの季節。2名のスタッフが森を去ります。それぞれのコメントを掲載します。「2年間お世話になり、本当にありがとうございました。森の植物や生き物のことから、工作、子どもとの関わりまで、本当にたくさんのことを学ばせていただきました。これからも作業日に遊びに来れたらと思っています!(河村)」「1年間お世話になり、ありがとうございました。森で植物のこと・生き物のことを学んだこ

とによって、家の近くにもこんなものがいつもの日常に色がつきました。次の職場も子どもと関わる仕事なので、森での経験を生かしていきたいです。(西村)」

子どもたちにも遊林会のみなさんにも人気の2人がいなくなるのは、森にとっても淋しいことです。残りのスタッフと4月から新たに加わる2人のスタッフで、2人の分もがんばっていきます!2人ともお疲れ様でした。

☆2013年度モリイコ!

4歳~小学3年生の子どもが1年に10回、森で様々な活動を行うモリイコ!は、何とか経費的に2013年度も実施できそうです。2013年度は定員30人の「モリイコ!」に131名、定員20名でモリイコ!経験者のみ応募できる「モリイコ!S」に32名の応募があり、改めて人気の高さを実感しました。一方で、抽選により多くの方が参加できなくなるという現実があります。参加できない子どもたちのためのイベントも実施し、多くの子どもたちに森の楽しさを体験してもらえよう準備を進めています。

*モリイコ!の活動の様子はブログ『モリイコ隊活動記』でご覧になれます。

☆春休みはじまる

春休み、森では人気イベントが目白押し。3月は「大きな木と遊ぼう!」、「春の森でデイクャンプ!」がありました。「大きな木と遊ぼう!」は、午前に高学年の子どもたちが森の中に一から作った遊び場で、午後から低学年の子どもが遊ぶイベントです。高学年チームはヘルメットをかぶって生えている竹を伐るところから始め、それぞれ作るものに合わせて長さを切り、ロープを使って遊び道具を作っていきます。ハイジのブランコと呼んでいる長さ7mくらいの巨大ブランコや、長い竹にぶら下がって渡る「消防士」、そして通常の2倍以上はあるソーなど、この日だけの特別な遊び場をつくって思いっきり遊びました。

「デイクャンプ」は1~3年生が対象、子ども同士が協力してたき火でご飯を作ったり様々なお題に挑戦していくものです。最初の難関はたき火。ご飯とスープを作るため、マッチで火をつけ、米が炊けるくらいの強火まで火をおこします。風でマッチが消えないように仲間の手で壁を作るのがミソです。協力を重ね、火の番、味見、苦勞して作ったご飯はどれも完売!午後からは森にて、いろんなお題に挑戦していきました。

☆4月の作業は…

作業には良い季節。のんびり下刈りをしたり藪に入ったり…春の森を楽しみましょう!

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします!

発行者: 東近江市建部北町 河辺いきものの森材センター内 遊林会 世話役 武藤精蔵 Tel 0748-20-5211

この用紙にはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています